

sankosha®
PRESS AND PROGRESS

AF-1000J

設置手順書

設置前にこの設置手順書をよくお読みいただき、正しく安全に設置してください。
機械設置後は、この設置手順書を大切に保管してください。
ご不明な点がございましたら代理店又は弊社までご連絡ください。

もくじ

安全上のご注意.....	3
重要なお知らせ	3
機械設置について.....	4
設置のための注意事項.....	4
機械吊上げ位置.....	4
機械設置寸法・重量	5
設置スペース.....	5
機械の固定.....	6
開梱作業とペダルの取付け.....	7
エア配管工事	8
電気接続工事	9




設置のために用意していただく部品

・3/8B エア開閉バルブ・・・1 個

●専用ブレーカー：10A

安全上のご注意

重要なお知らせ

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれ大きい内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うおそれや物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険

- 電力供給を機械に接続する際は有資格者が作業を行うこと。
- アースケーブルを忘れずに接続する。

－ 当該記載事項を守らないと死を招くおそれがあります。

警告

- 機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置で行う。
- 機械の運搬は、クレーン、フォークリフトの有資格者が行う。
また、機械を吊り上げる場合は、本書の記載事項を遵守。
- 機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らない。
- 協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適した人員を選択する。
- 作業者が相互の合意なしで作業を進めない。

－ 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

当社は、仕様範囲を超えたご使用に関する如何なる損害も保証しかねます事をご了承ください。

機械設置について

警告

- 機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置で行う。
- 機械の運搬は、クレーン・フォークリフトの有資格者が行う。
また、機械を吊り上げる場合は、設置手順書の記載事項を遵守。
- 機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らない。
- 協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適した人員を選択。
- 作業者が相互の合意なしで作業を進めない。
- 複数の作業員で運搬を行う場合は、手による合図、声による合図、旗による合図等で安全を確認しながら作業を行う。

— 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

設置のための注意事項

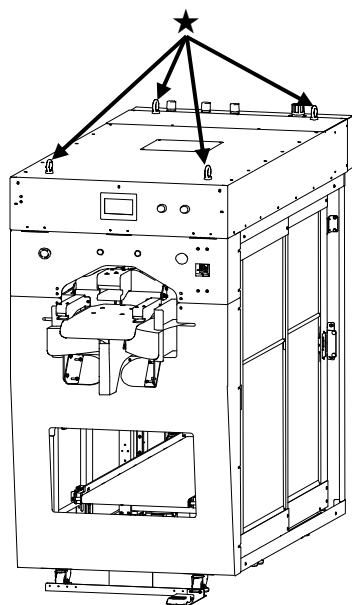
下記の条件を満たすように機械を設置。

- 機械が直射日光あるいは雨天にさらされない屋内条件で設置。
- 水平な床へ設置すること。
床が水平でない場合、敷板(スペーサー)で機械の水平を調整する。
- 塵やホコリがない環境で設置する。
- 重心に注意して設置する。
機械の正面と右側面の下部に、重心ポイントのシール(右図のもの)が貼ってあります。
- 十分な作業スペースを機械の周りに確保。
- 機械の運搬は、機械重量に十分に耐えることができる装置で行う。



機械吊上げ位置

搬送の際機械を吊上げる時には、下図の★位置に吊り具を掛けてください。(4ヶ所)
また吊り具は、機械重量に十分耐えられるものをご使用ください。



機械重量
500kg

機械設置寸法・重量

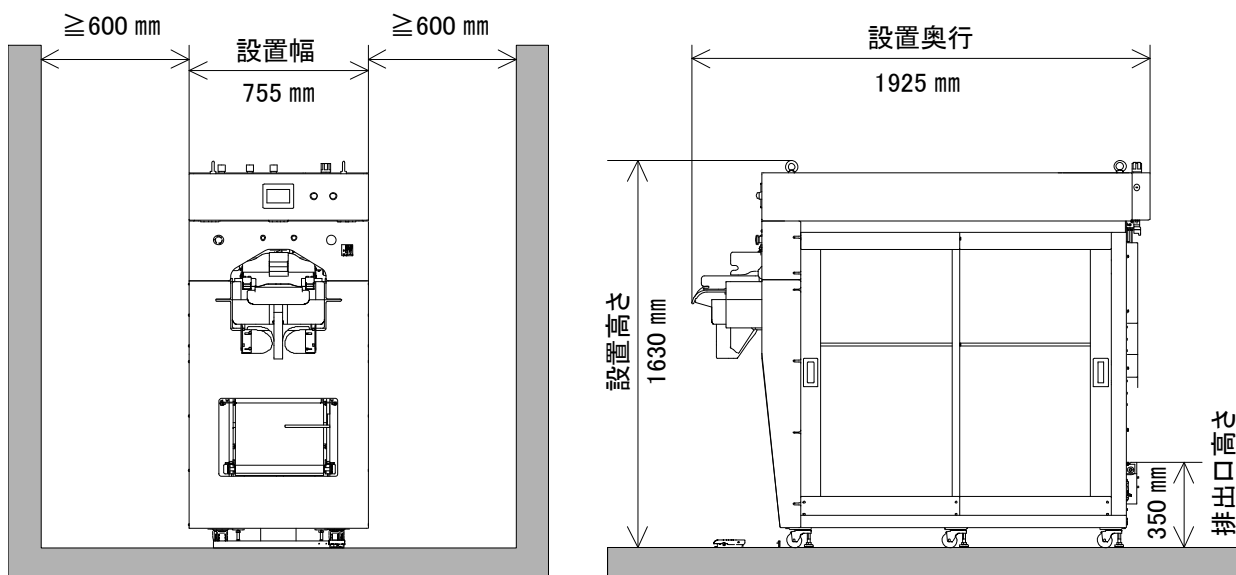
	幅	× 奥行	× 高さ	重量
排出オプションユニット無し	755	× 1925	× 1630 mm	500kg
排出オプションユニット有り	755	× 3905	× 1630 mm	560kg

※機械設置寸法とは・・・機械が動作した時の最大寸法を示します。
機械が動作中に、前後・左右または上下に動作した時の、最大位置の寸法を示します。

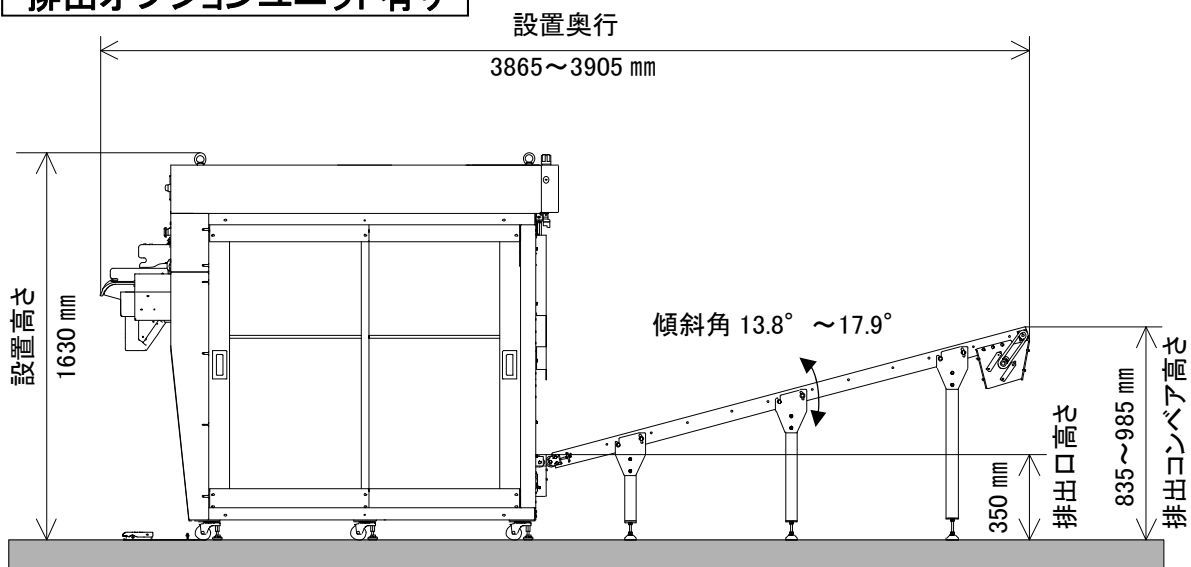
設置スペース

設置時は、壁や周辺設備との間に十分な作業スペースを配慮すること。

- ・設置管理者は適正なスペースが取れる位置に機械を配置。
- ・下図に、配慮すべき最小スペースの参考図を示します。
- ・機械後方は置んだ品物の排出側になるので、十分なスペースを確保。



排出オプションユニット有り



機械の固定

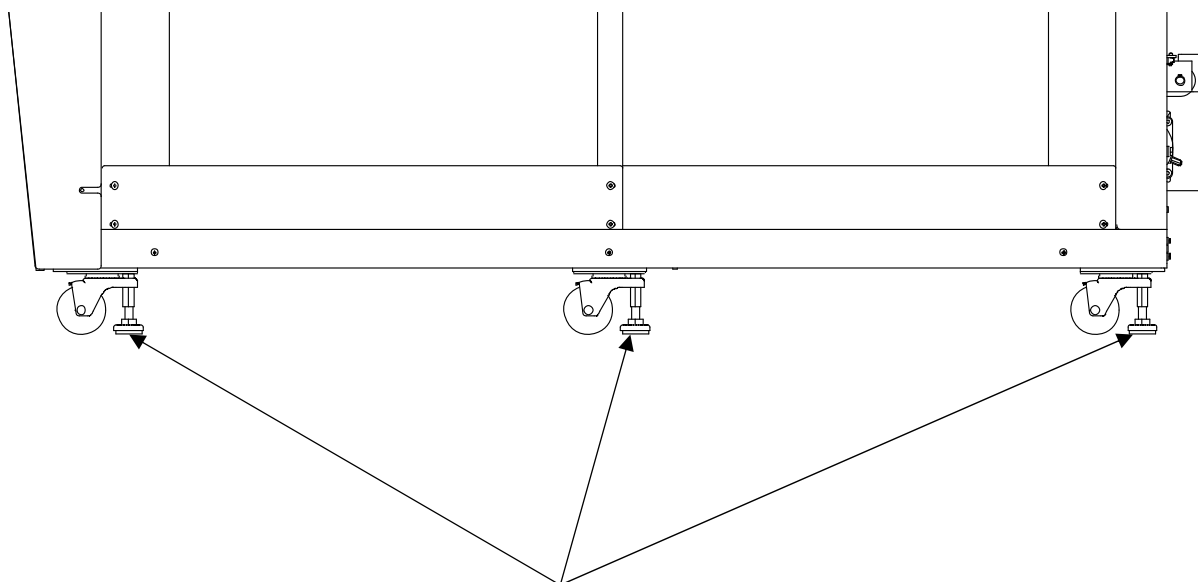
機械を設置場所まで移動して、床の上に設置します。

- ・設置時、機械に過度の衝撃を与えないよう注意。
- ・設置する床は機械の重さに十分耐える構造であることを確認。
- ・レベルフット(6箇所)で機械が水平になるように調整します。



警告

機械は水平に固定、傾いていると動作不良の原因になります。



レベルフット: 左右計 6 箇所

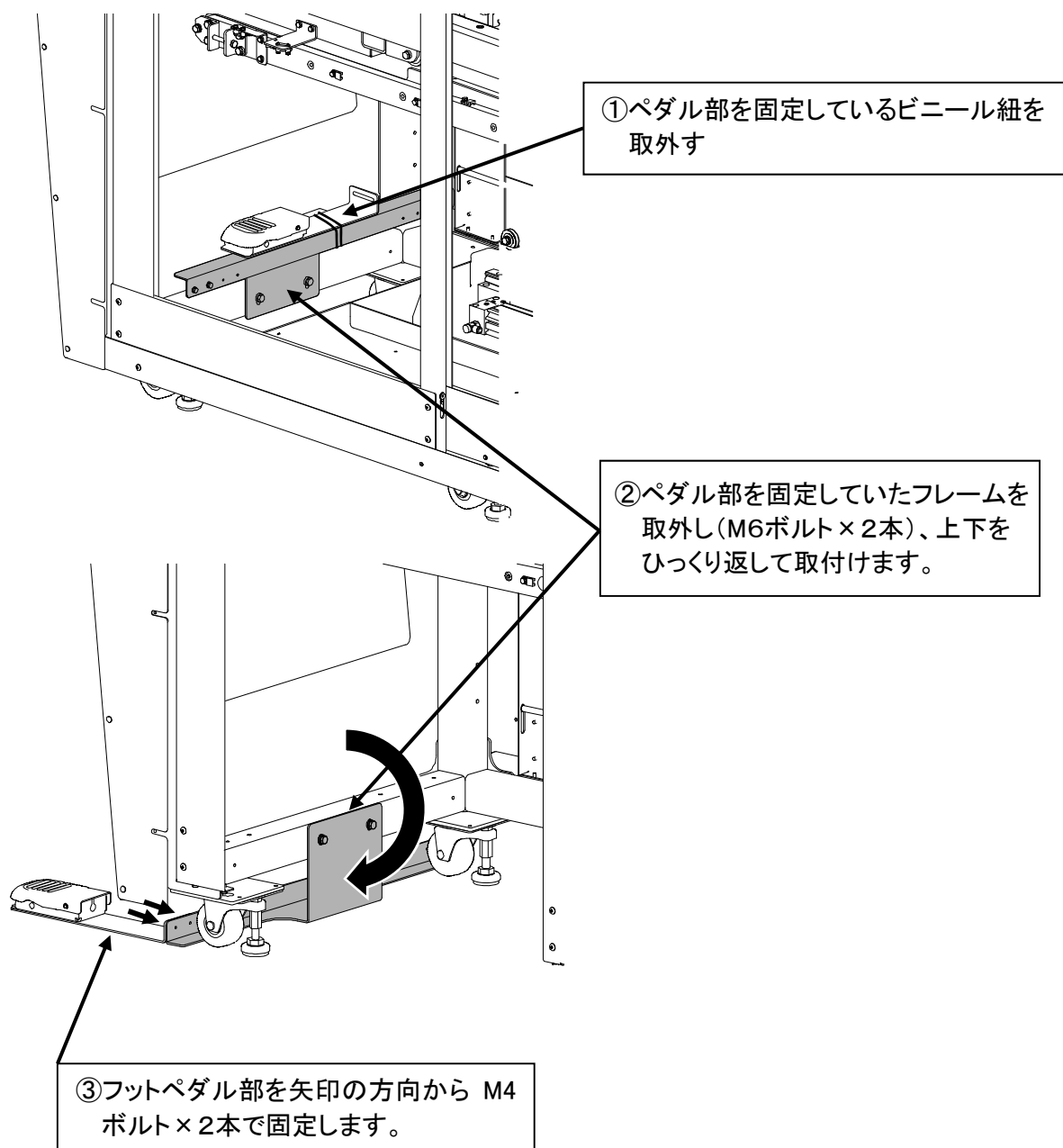
開梱作業とペダルの取付け



注意

- ・搬送固定用のビニール紐を忘れずに開梱すること。
- ・梱包用の紐を外すまでは、エアーを供給しない。
梱包固定状態のままエアーを供給すると機械の破損に繋がります。

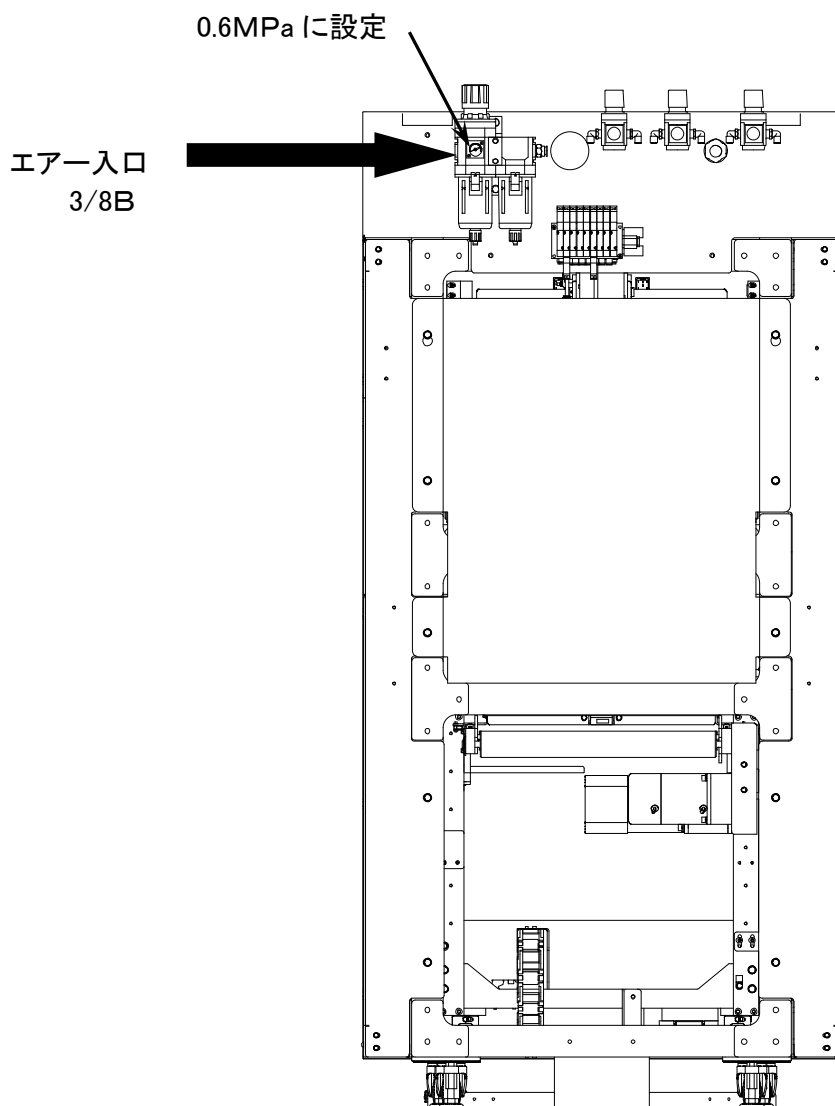
1. 各部を固定しているビニール紐、PP バンドを全て取り除きます。
2. 本体内部に固定されているフットペダルを取り外して設置する。
 - ①ペダル部を固定しているビニール紐を取り外します。
 - ②ペダル部を固定していたフレームを取り外し、下図のようにひっくり返して取り付けます。
 - ③ペダル部をフレームにネジで取付けます。



エア配管工事

エア消費量	: 3200ℓ/h
エア規定圧力	: 0.6MPa
エア配管径	: 3/8B

- エア配管を接続。
メンテナンス作業時等にエアの供給を自由に止められるように、**入口側には開閉用バルブの取付けを推奨。**
配管工事により出た金属粉などが配管内に入らないようにフラッシングをしてから接続。
- エア圧力 0.6MPa で安定した清浄なエアを供給。
多量のドレン、化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む圧縮空気は、空圧機器の作動不良の原因となります。
- 本機でのエアの消費量は、3200 リットル/時です。
この容量以上のエアが安定して供給できる環境で使用。
- エアチューブを用いて配管する場合は、チューブ径が 12mm 以上のものを使用する。



電気接続工事

電力	: 200V, 3-Phase, 50/60Hz, 0.6kW
電源ケーブル	: 電力線3本 + アース線1本
機械のブレーカーと定格電流	GV2-ME10, 4.0 - 6.3A




警告

- ・機械への電力供給の接続は有資格者が作業すること。
- ・アースケーブルを忘れずに接続する。
 - 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害や機械の動作トラブルに繋がります。

機械設置後に漏電遮断器が作動する場合

- ・漏電遮断器を高周波対策付に変更する(インバーター搭載モデルの場合)。
- ・漏電遮断器の定格感度電流を大きくする。
- ・電源ケーブルを漏電遮断器から機械までの距離を近くし単独配線にする。
- ・電源ケーブルを大地から遠ざけ、他電源ケーブルとの接触を減らす。

次の手順で接続作業を行ってください。

1. アースケーブルを緑の線、又は  マークへ接続します。
2. 電源ケーブルを工場側ブレーカーの出力端子と接続します。
3. 電気配線工事が終了したら、電源を入れモーターの回転方向が正しいか確認。逆回転している場合は配線の接続が逆相になっているので、やり直してください。

株式会社 三幸社

〒193-0815 東京都八王子市叶谷町 988

T e l: 042-621-1181

F a x: 042-620-0751

URL: <http://sankosha-mfg.com/>



販売代理店

AF-1000J-V1

Rev. 0

2022. 4